

Stage3 What's the Weather Like Today? (今日はどんなお天気?)

作・クレア・ルウェリン

絵・ジョン・スチュアート

<読むまえに>

お子さんが読むまえに、この本についてお子さんと話しましょう。

- ・表紙と裏表紙を見て、この本に書かれていそうなことをお子さんと話しましょう。
- ・2ページと3ページを見てください。お子さんは天気のちがいがわかりますか？
- ・晴れの日、雨の日、風の日には、何をするのが好きかお子さんに聞いてみましょう。

<読んでいるときに>

自分のスピードで読めばいいよと、お子さんにいってあげましょう。

読みながら単語を指さしてみようと、お子さんに提案してください。

お子さんがつかえたときは、次のようにうながしてお子さんを助けてあげてもいいでしょう：

- ・ことばを声にだしていってごらん。
- ・ここにはどんなことばが合うかな。
- ・絵を見るとわかるよ。

<ひっかかることば>

ここにあるのは、お子さんがこの本を読むときにひっかかりそうなことばです。

like 好き

when ~のとき

seaside 海辺

make 作る

what なに

do する

[p. 2]

天気

[晴れの日]

[風のふく日]

[雨の日]

[p. 3]

[くもりの日]

[雪の日]

[氷点下の日]

「きみは、どんな天気の日がいちばん好きかな？」

[p. 4]

晴れの日

わたしたちは、晴れの日が好きです。

[p. 5]

「きみは、晴れの日は何をする？」
海辺であそべます。

[p. 6]

風のふく日
わたしたちは、風のふく日が好きです。

[p. 7]

「きみは、風のふく日は何を？」
風のなかで、たこあげができます。

[p. 8]

雨の日
わたしたちは、雨の日が好きです。

[p. 9]

「ぼく、水たまりが大好き！」
水たまりであそべます。

[p. 10]

くもりの日
わたしたちは、くもりの日が好きです。

[p. 11]

「きみは、くもりの日は何を？」
暑すぎません。

[p. 12]

雪の日
わたしたちは、雪の日が好きです。

[p. 13]

「ぼく、雪玉を作るのが好きなんだ」
雪だるまを作れます。

[p. 14]

氷点下の日
「きみは、氷点下の日は好き？」
わたしたちは、氷点下の日が好きです。

[p. 15]

凍ったクモの巣が見られます。

[p. 16]

[太陽]

[雨]

[風]

[雲]

[雪]

[霜]

< 読んだあとで >

読んだあとで、この本についてお子さんと話しましょう。

こんな質問をしてみましょう：

・どんな天気がいちばん好き？ それはどうして？

・どんなことについてもっと知りたい？

この本をまた読んでみようとお子さんにすすめてください。読む自信をそだて、つかえずに読めるようになります。

< ほかにすること >

この本のことをくりかえし話題にしましょう。

『インシー・ウィンシー・スパイダー（ちっちゃなくもさん）』や『イツ・レイニング、イツ・ポアリング（雨がふっている、ざあざあふっている）』のような天気の子謡をお子さんと歌ってみましょう。